

2019年12月期
決算説明会

2020年2月21日

株式会社ソディック



I. 2019年12月期 決算概要	3
II. 2020年12月期 業績予想	23
III. 株主還元	28
IV. 中期経営計画	30
(参考資料)	37

I. 2019年12月期 決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

III. 株主還元

IV. 中期経営計画

(参考資料)

業績ハイライト



- ✓ 米中貿易摩擦の長期化等により、主要市場の中国をはじめ全世界的に放電加工機の販売台数が減少。売上高は前期比18%減少。
- ✓ 生産台数減少に伴う工場の収益性低下、減価償却費等固定費の増加により、利益は前期を大幅に下回る結果。

(百万円)

	2018年12月期		2019年12月期		前年同期比 増減		2019年12月期 通期予想 (11/13修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	82,716	-	67,591	-	△15,124	△18.3%	67,000	-
売上総利益	30,227	36.5%	22,169	32.8%	△8,057	△26.7%	-	-
営業利益	9,888	12.0%	3,422	5.1%	△6,466	△65.4%	3,400	5.1%
経常利益	9,619	11.6%	3,558	5.3%	△6,060	△63.0%	3,100	4.6%
当期純利益	6,462	7.8%	2,002	3.0%	△4,460	△69.0%	1,500	2.2%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	8,576	10.4%	6,561	9.7%			4,500	6.7%
減価償却費	3,085	3.7%	3,664	5.4%			3,400	5.1%
研究開発費	3,902	4.7%	3,483	5.2%			4,200	6.3%
期中平均 為替レート	ドル	110.44 円	109.03 円	1.41円 円高	108.50 円			
	ユーロ	130.35 円	122.03 円	8.32円 円高	121.50 円			
	人民元	16.71 円	15.77 円	0.94円 円高	15.70 円			
	バーツ	3.42 円	3.52 円	0.1円 円安	3.50 円			

※参考情報 2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円 バーツ：3.63円
2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 バーツ：3.41円

業績ハイライト（四半期別）



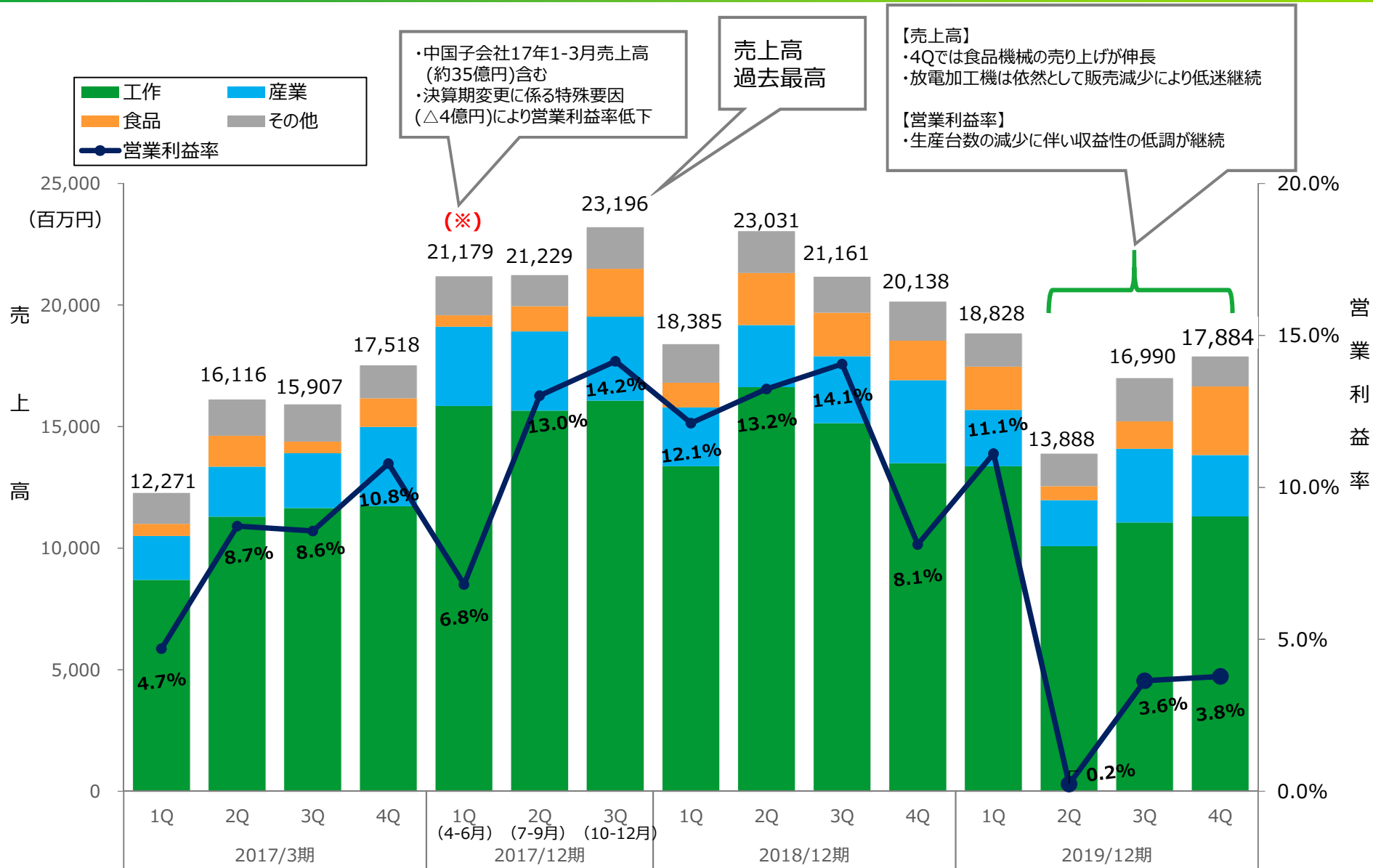
- ✓ 第4四半期は、食品機械の売り上げが伸長し、全体の売上高の増加をけん引。売上総利益率は1.5ポイント改善。

(百万円)

	2019年12月期							
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	3Q (7-9月)	利益率	4Q (10-12月)	利益率
売上高	18,828	-	13,888	-	16,990	-	17,884	-
売上総利益	6,645	35.3%	4,685	33.7%	5,148	30.3%	5,689	31.8%
営業利益	2,093	11.1%	33	0.2%	618	3.6%	676	3.8%
経常利益	2,168	11.5%	△94	-	503	3.0%	981	5.5%
当期純利益	1,460	7.8%	△568	-	285	1.7%	825	4.6%

期中平均 為替レート	ドル	110.22 円		110.06 円		109.12 円		109.03 円	
	ユーロ	125.16 円		124.32 円		122.62 円		122.03 円	
	人民元	16.32 円		16.19 円		15.88 円		15.77 円	
	バーツ	3.49 円		3.49 円		3.49 円		3.52 円	

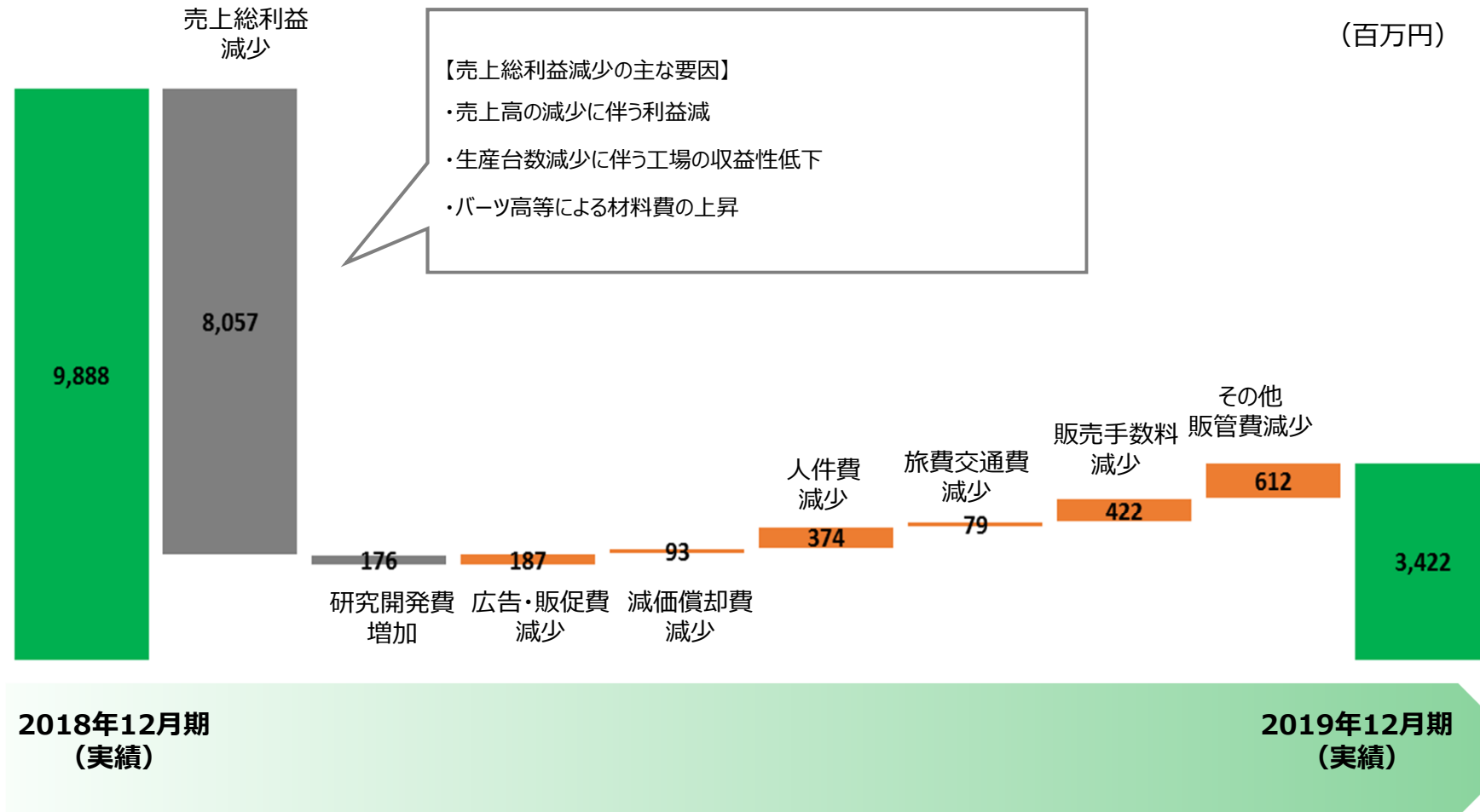
売上高・営業利益率推移（四半期毎）



(※) 決算期変更による変則決算のため、中国12月決算会社の17年1-3月の数値含む。

営業利益増減要因

- ✓ 販売手数料や人件費の減少等により、販売管理費が減少したものの、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、営業利益は前年同期比、約65億円減少。



セグメント別業績



(百万円)

		2018年 12月期	2019年 12月期	増減		2019年12月期 通期予想 (11/13修正)
		実績	実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	58,607	45,797	△ 12,810	△21.9%	44,500
	● 産業機械事業	11,155	9,773	△ 1,382	△12.4%	10,100
	● 食品機械事業	6,560	6,283	△ 276	△4.2%	6,400
	● その他事業	6,392	5,737	△ 655	△10.3%	6,000
		82,716	67,591	△ 15,124	△18.3%	67,000
セグメント 利益	● 工作機械事業	9,988	4,621	△ 5,367	△53.7%	4,200
	● 産業機械事業	802	165	△ 637	△79.4%	400
	● 食品機械事業	674	625	△ 48	△7.2%	650
	● その他事業	1,030	311	△ 718	△69.8%	350
		12,496	5,723	△ 6,773	△54.2%	5,600
調整額		△ 2,607	△ 2,301	306	—	△ 2,200
営業利益 合計		9,888	3,422	△ 6,466	△65.4%	3,400

セグメント別業績



(百万円)

■ 工作機械事業

【売上高】

- 中国はじめ全世界的に、長引く米中貿易摩擦の影響等で景気減速。
- 自動車、スマートフォン、電子部品など幅広い分野で設備投資先送り傾向あり、放電加工機の販売台数が大幅減少。
- 北米の航空宇宙・医療機器関連は堅調継続

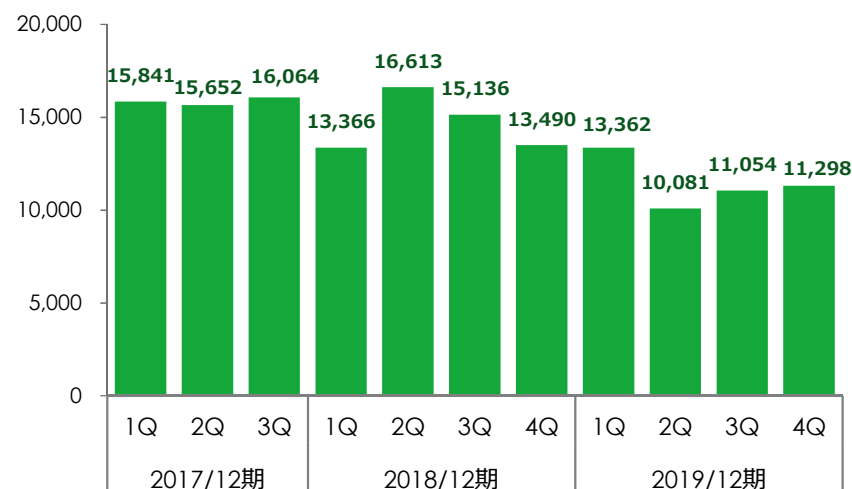
【セグメント利益】

- 生産台数の減少・固定費の増加等により、収益性の低迷継続、利益は前期比半減。

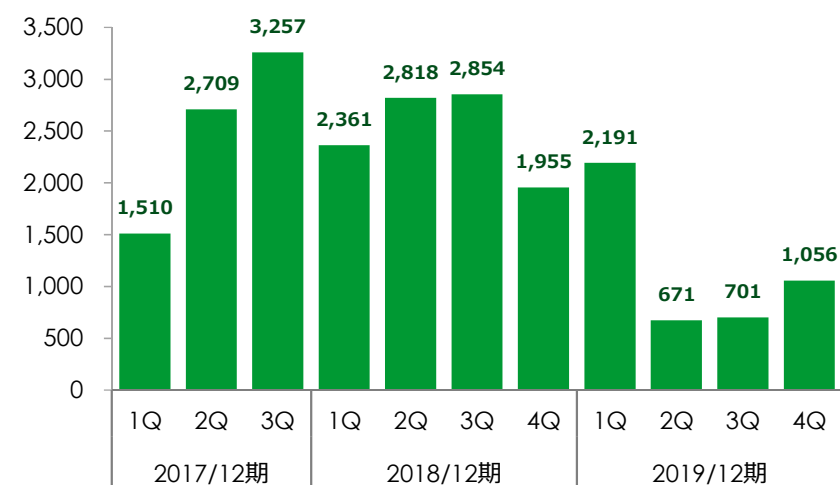
(百万円)

	2018年 12月期	2019年 12月期	増減	
			額	率
売上高	58,607	45,797	△ 12,810	△21.9%
セグメント利益	9,988	4,621	△ 5,367	△53.7%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■産業機械事業

【売上高】

- 米中貿易摩擦により国内外で設備投資先送り傾向あり。
- 日本、中国、アジアにてスマートフォン・電子部品関連需要に依然として一服感あり、販売台数減少。
- 足元では、国内の自動車関連需要や、光学レンズの成形、5G対応に向けたインフラ整備関連需要あり。

【セグメント利益】

- 19/12期4Qは、研究開発費の増加や展示会出展に係る一時的費用が影響し、53百万円の損失。

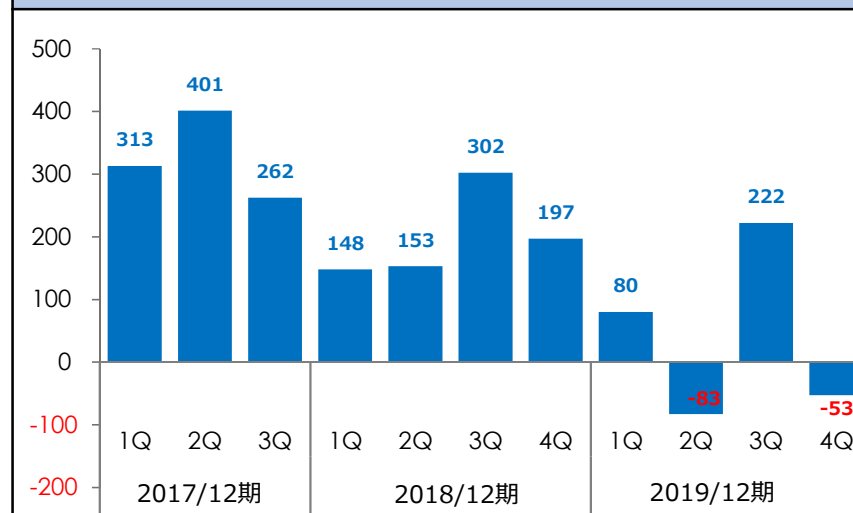
(百万円)

	2018年 12月期	2019年 12月期	増減	
			額	率
売上高	11,155	9,773	△ 1,382	△12.4%
セグメント利益	802	165	△ 637	△79.4%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■ 食品機械事業

【売上高】

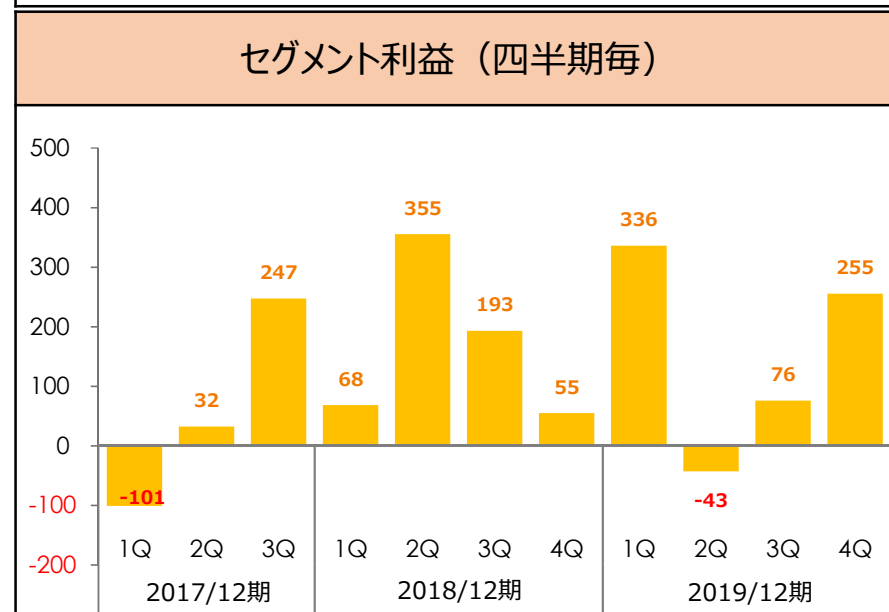
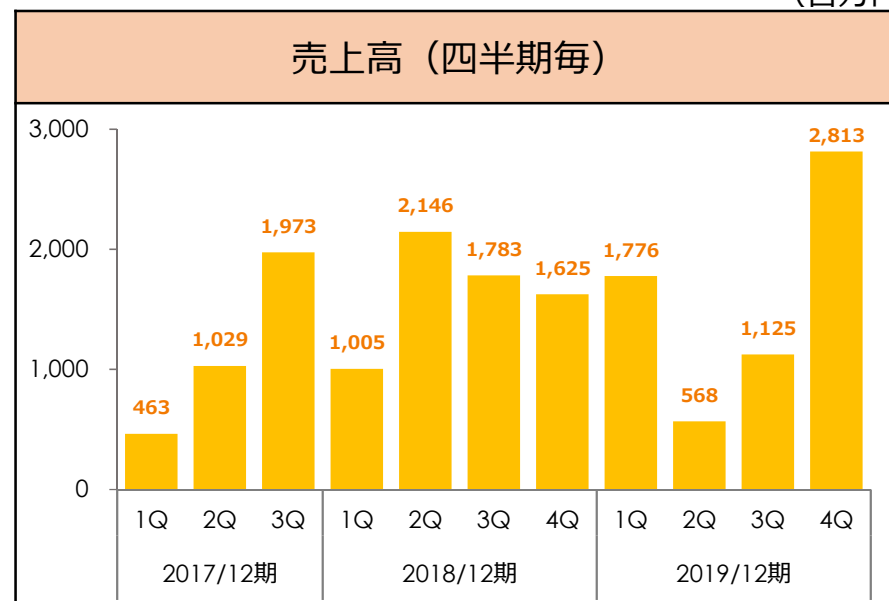
- 高品質な調理麺製造用の設備需要は堅調。
- 無菌包装米飯製造装置も国内外で需要増加。
- 衛生面向上・省人化のための自動化設備需要も拡大。
- 世界経済減速による設備投資先送りの動きもあり、売上高は前年対比で若干減少。

【セグメント利益】

- 19/12期4Qは、売上高の伸長に伴い、セグメント利益も回復。

(百万円)

	2018年 12月期	2019年 12月期	増減	
			額	率
売上高	6,560	6,283	△ 276	△4.2%
セグメント利益	674	625	△ 48	△7.2%



セグメント別業績



(百万円)

■ その他事業

【売上高】

- 金型成形事業は足元で需要は回復傾向。
- セラミックスは需要減速により伸び悩み。

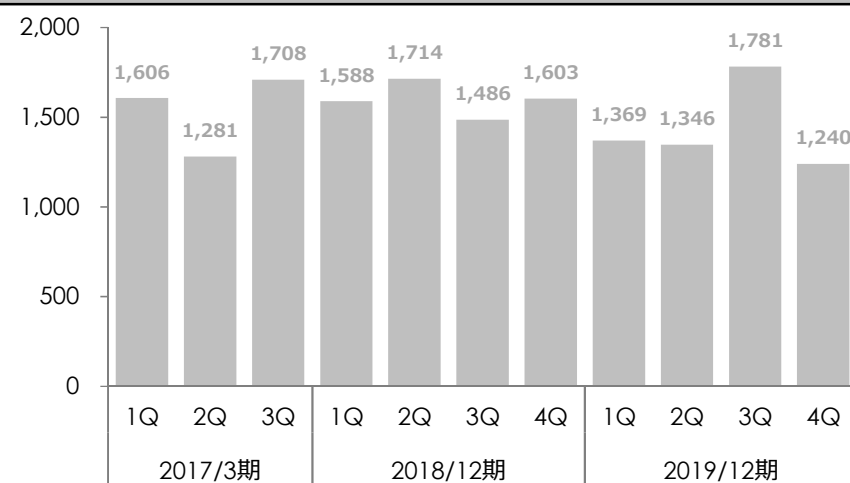
【セグメント利益】

- 中長期的な事業拡大に向けた製造設備の能力増強、自動化対応のための研究開発投資が先行しており、収益性は依然として回復していない状況。

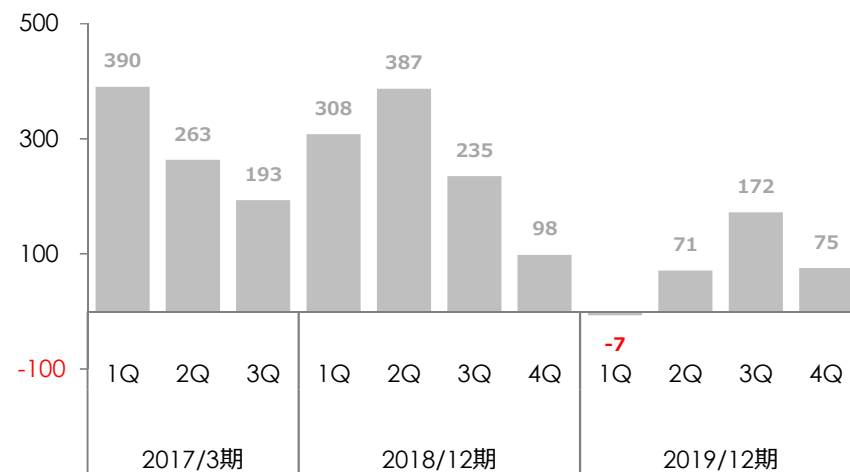
(百万円)

	2018年 12月期	2019年 12月期	増減	
			額	率
売上高	6,392	5,737	△ 655	△10.3%
セグメント利益	1,030	311	△ 718	△69.8%

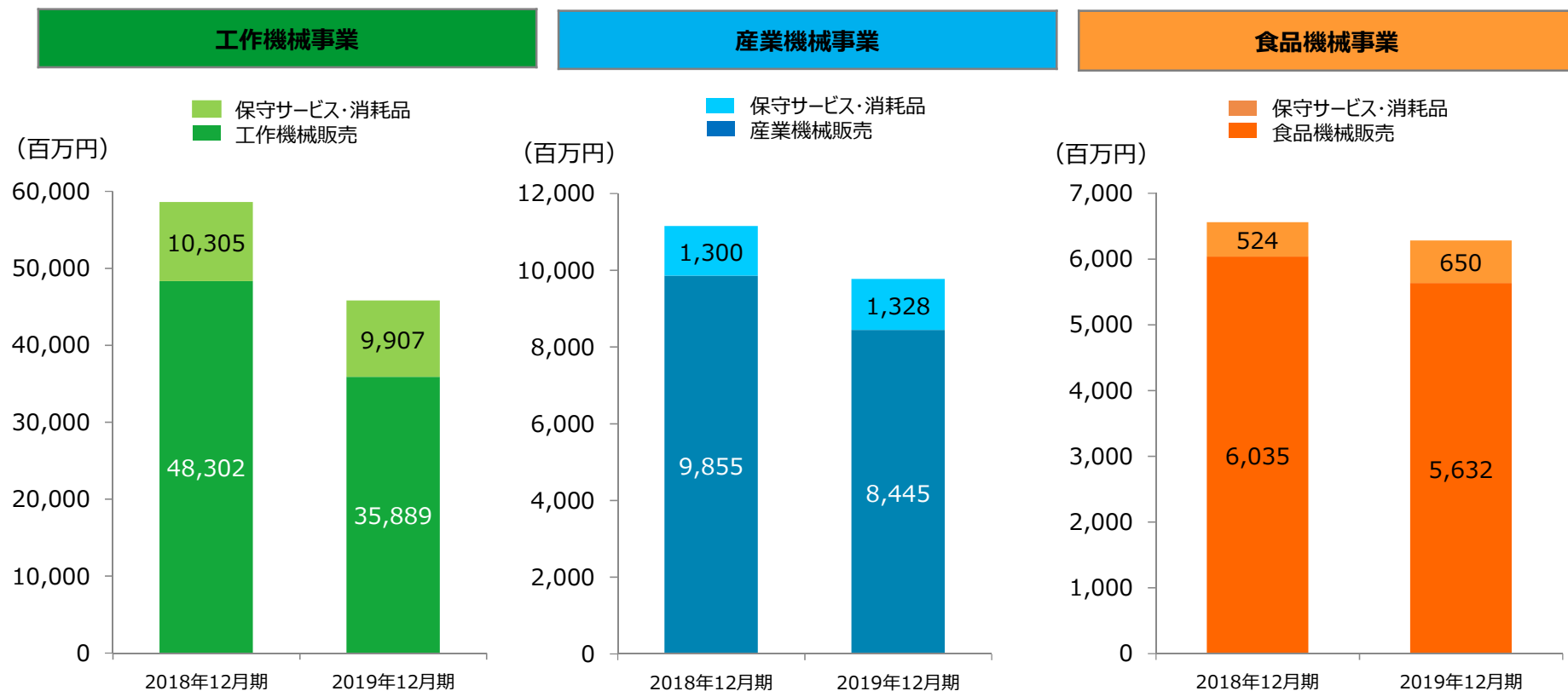
売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



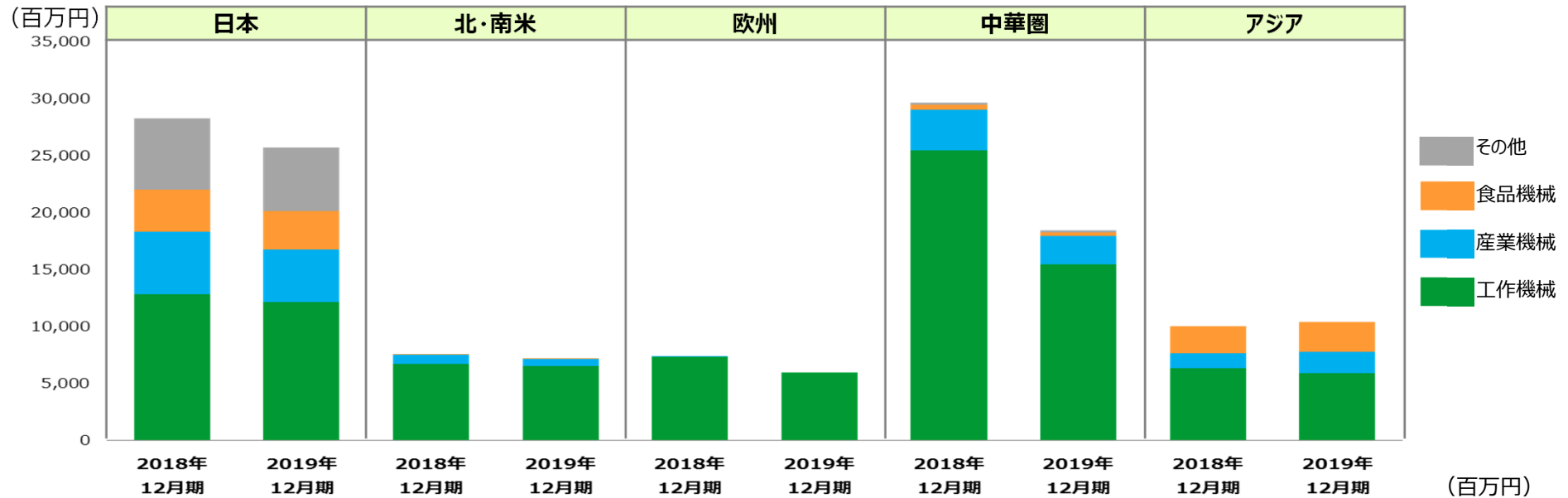
セグメント別 売上高内訳



	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2018年12月期		2019年12月期		2018年12月期		2019年12月期		2018年12月期		2019年12月期	
機械販売	48,302	82.4%	35,889	78.4%	9,855	88.3%	8,445	86.4%	6,035	92.0%	5,632	89.6%
保守サービス・消耗品	10,305	17.6%	9,907	21.6%	1,300	11.7%	1,328	13.6%	524	8.0%	650	10.4%
合計	58,607		45,797		11,155		9,773		6,560		6,283	

事業別海外売上高比率

✓ 日本、欧州、中国での売上高が減少、海外売上高比率は 62% に低下。



2018年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,824	21.9%	6,692	11.4%	7,282	12.4%	25,483	43.5%	6,324	10.8%	58,607	70.9%
産業機械	5,511	49.4%	790	7.1%	44	0.4%	3,503	31.4%	1,306	11.7%	11,155	13.5%
食品機械	3,712	56.6%	14	0.2%	-	-	456	7.0%	2,376	36.2%	6,560	7.9%
その他	6,218	97.3%	-	-	-	-	174	2.7%	-	-	6,392	7.7%
地域別計	28,266	34.2%	7,496	9.1%	7,326	8.8%	29,617	35.8%	10,008	12.1%	82,716	100.0%

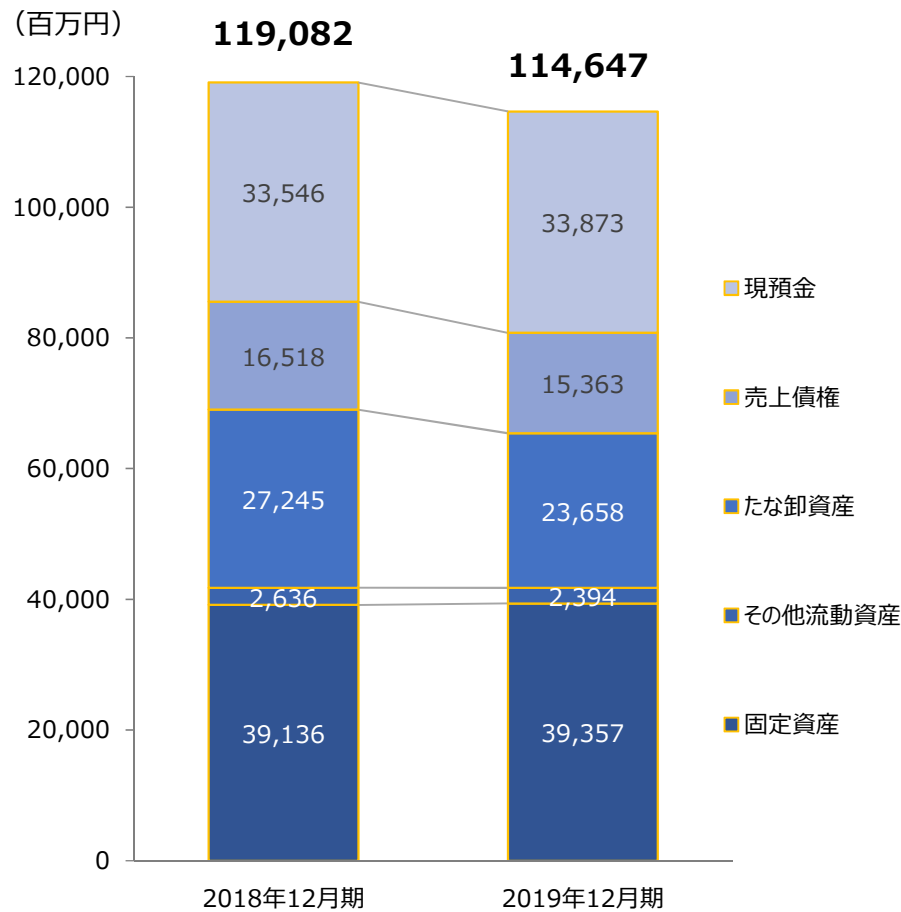
2019年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,100	26.4%	6,504	14.2%	5,910	12.9%	15,421	33.7%	5,860	12.8%	45,797	67.7%
産業機械	4,693	48.0%	635	6.5%	-	-	2,567	26.3%	1,876	19.2%	9,773	14.5%
食品機械	3,347	53.3%	21	0.3%	-	-	290	4.6%	2,624	41.8%	6,283	9.3%
その他	5,566	97.0%	-	-	-	-	170	3.0%	-	-	5,737	8.5%
地域別計	25,707	38.0%	7,162	10.6%	5,910	8.8%	18,450	27.3%	10,360	15.3%	67,591	100.0%

為替の影響額	日本	北・南米	欧州	中華圏	アジア	計
	-	△約0.8億円	△約4億円	△約10億円	△約0.5億円	△約15.4億円

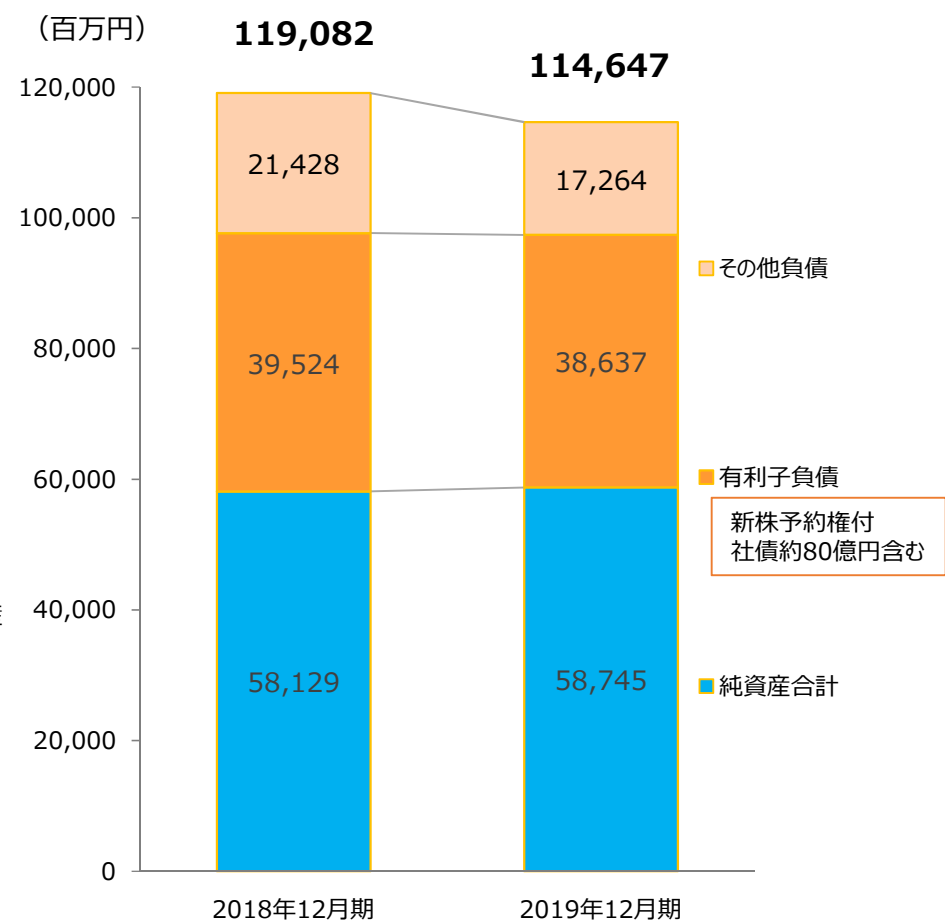
貸借対照表

- ✓ ネット有利子負債は47億63百万円（前期末比12億14百万円減少）
- ✓ 売上債権及びたな卸し資産の大幅な減少により総資産が前期末比約44億円減少

資産



負債・純資産

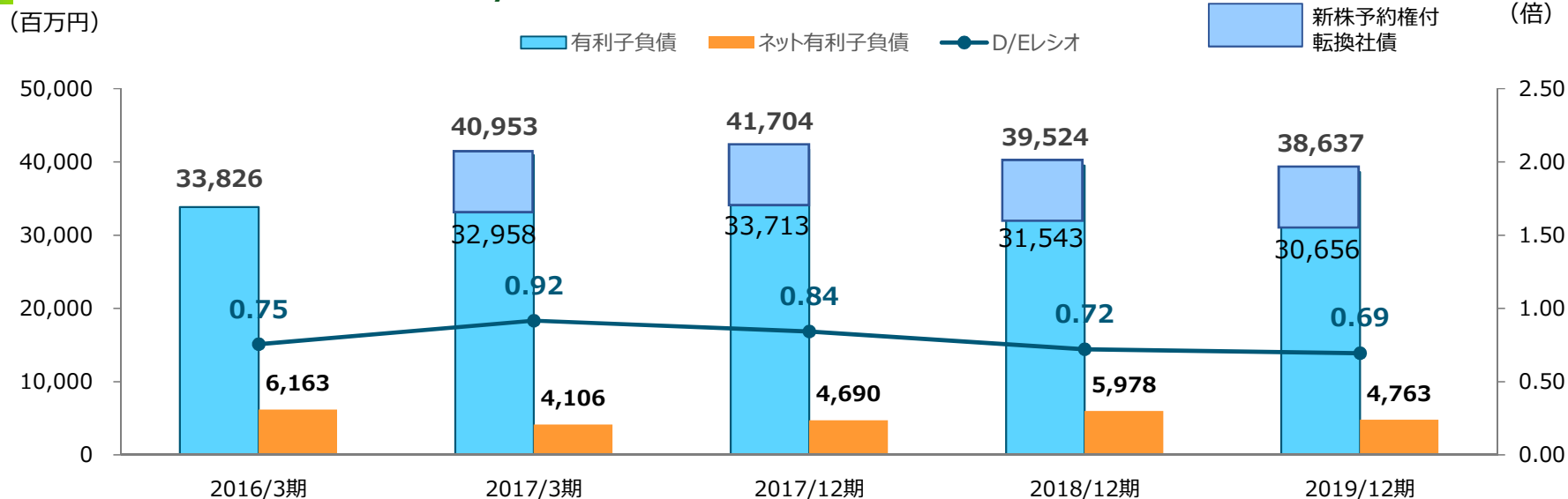


※参考情報 2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円 パーツ：3.63円
 2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 パーツ：3.41円

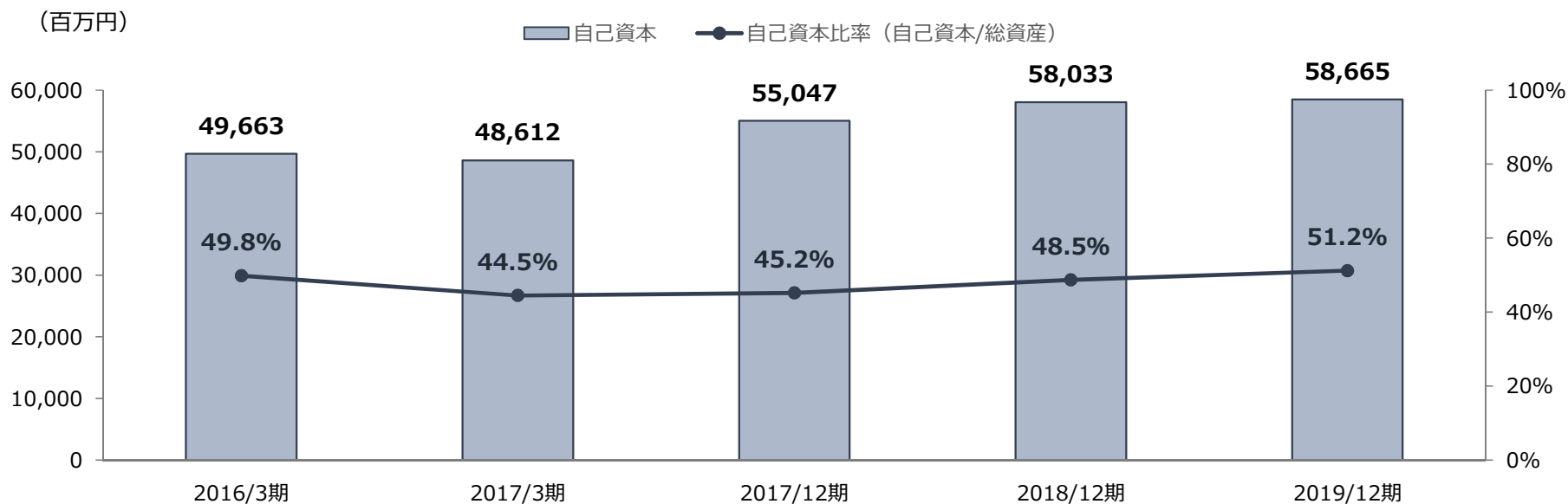
財務関係指標推移



有利子負債・ネット有利子負債・D/Eレシオ 推移



自己資本・自己資本比率 推移



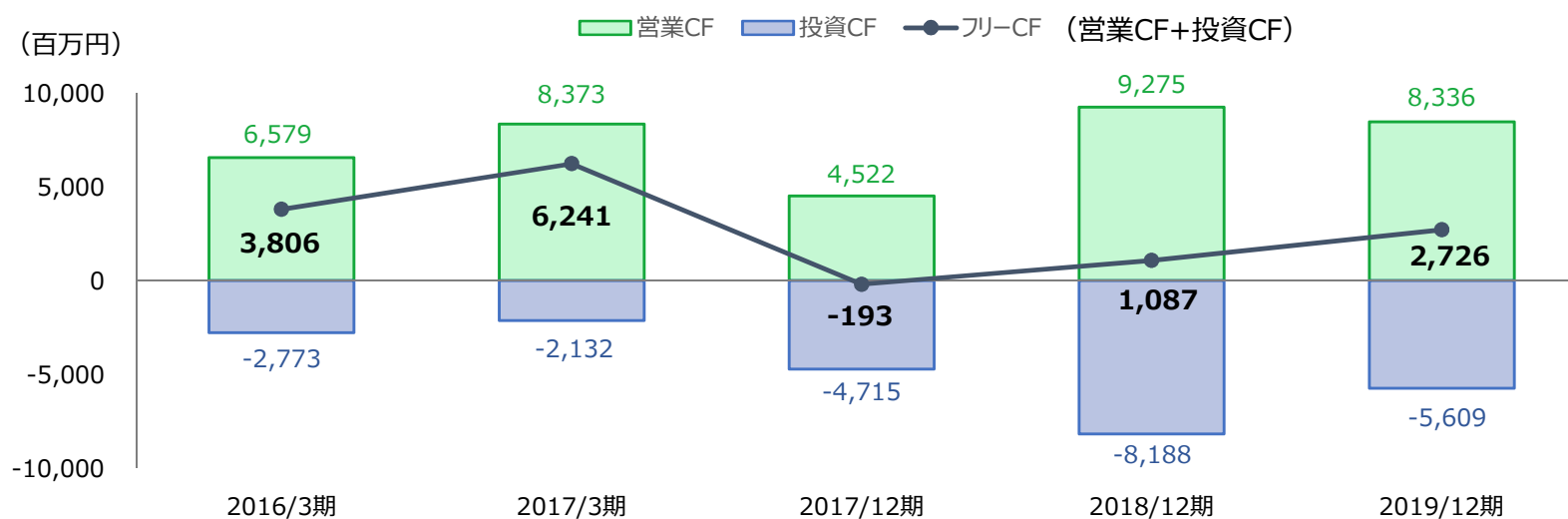
キャッシュ・フロー



- ✓ 営業キャッシュフローは税金等調整前純利益が減少するも、売上債権の減少、たな卸資産の減少等により83億36百万円のプラス。投資活動によるキャッシュ・フローは国内外での設備投資が減少し、フリーキャッシュフローは27億26百万円のプラスを維持。

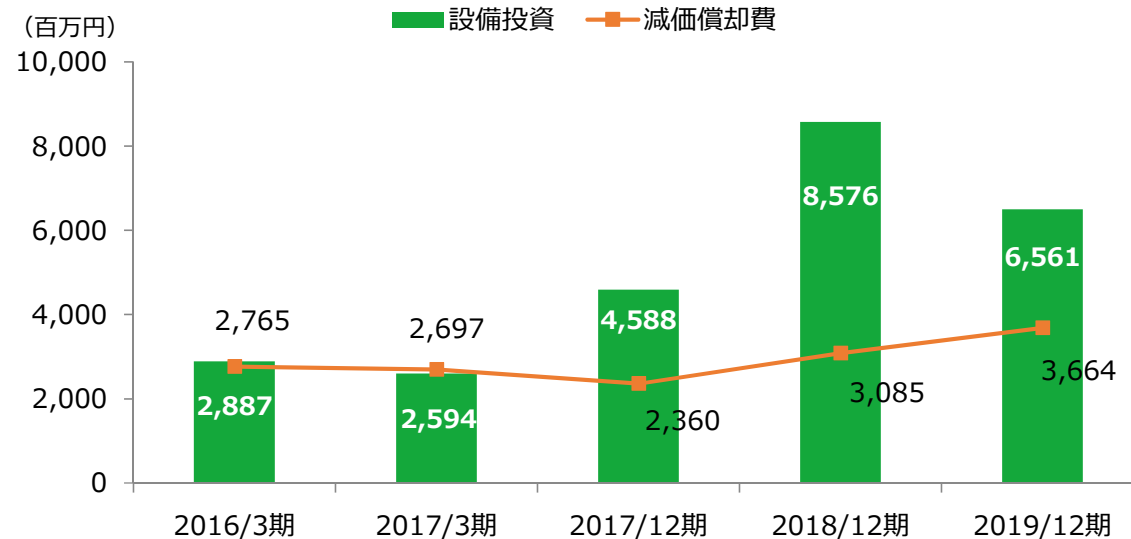
(百万円)

	2018年12月期	2019年12月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,275	8,336	売上債権の減少 約10億円 たな卸資産の減少 約30億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,188	△5,609	有形固定資産の取得 約57億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,485	△2,228	
現金及び現金同等物の期末残高	32,650	32,890	



設備投資／減価償却費

設備投資／減価償却費の推移



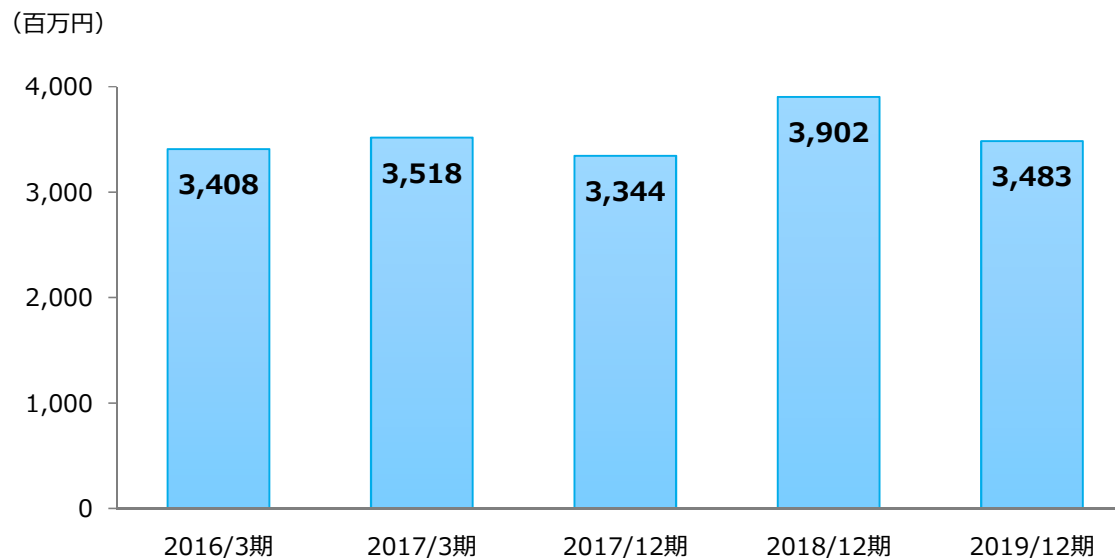
▶ 主な設備投資 (2019年12月期)

- ✓ 英国営業拠点 テックセンター
- ✓ 金型成形事業 生産設備増強
- ✓ セラミックス 生産能力増強
- ✓ ソディック 社員寮・食堂リニューアル

▶ 減価償却費

- ✓ 2017年12月期以降の設備投資拡大に伴い、減価償却費も増加。

研究開発費の推移






▶ 研究開発費 (2019年12月期)

- ✓ 金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究の開発を継続。

2019年12月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械		
<p>製品名</p>	<p>大型形彫り放電加工機 「AG200L」</p>  <p>2019年 「十大新製品賞 モノづくり賞」受賞</p>	<p>形彫り放電加工機 「AL40G/AL60G」</p> 	<p>超精密ワイヤ放電加工機 「AP350L (Oil)」</p> 
<p>販売市場</p>	<p>航空宇宙、エネルギー、自動車、医療機器、電子・電気機器</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>航空宇宙、エネルギー、自動車、医療機器、精密・電子・電気機器</p>
<p>製品特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ストローク最大級の大型ワーク対応高速・高性能形彫り放電加工機を開発。 ・自動車関係の大型で、より複雑な設計の金型構造のニーズに対応。 ・高速で簡単に加工したいというニーズに適応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやタブレット端末、自動車部品などで代表される精密金型、精密部品加工に対応。 ・リアモータ制御技術と最先端放電制御技術、および、AI機能、IoTプラットフォーム、温度管理システムなどを融合させた、新世代の精密形彫り放電加工機。 	<ul style="list-style-type: none"> ・油加工液仕様 リニアモータ駆動 超精密ワイヤ放電加工機。 ・ハイレベルな加工ニーズが要求されている、電気自動車・ハイブリッド車などに搭載されるモータコア用金型に対応。 ・X軸とY軸のストロークを同等とすることで、モータコア用金型にも適応できる正方形の加工エリアを提供する軸構成を実現。

2019年12月期リリース主な新製品

セグメント	産業機械	食品機械	食品機械
<p>製品名</p>	<p>V-LINE® 縦型 単動 射出成形機 「VT50」</p> 	<p>粉体冷却装置</p> 	<p>食品検査用ベルトコンベア</p> 
<p>販売市場</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>大手食品メーカー (国内、海外) 等</p>	<p>大手食品メーカー (国内、海外) 等</p>
<p>製品特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・V-LINE®の安定的な精密成形品のさらなる生産性向上を実現。 ・型締力490kN (50トン) の縦型単動射出成形機。 ・自動運転・センシング・5G 通信 等で需要増加が見込まれる狭ピッチ化・低背化を極める精密コネクタなどの生産性向上に貢献。 ・インサート成形をターゲットに型開閉機構を高速化させ制御機能を持たせた、ハイブリッドトルク機構を開発。成形サイクル従来比20%短縮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉、そば粉、米などの粉粒体の原材料を迅速・均一に冷却し、製麺、製パン、製菓など、生地の品質管理の向上実現する業界初「粉体冷却装置」を開発。 ・特許取得済み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査コンベアの真下からLEDライトを照射し、異物の判別を容易に行える。 ・食品製造における異物混入対策に貢献。 ・加工用食材（野菜など）の目視検査で使用。

1 ソディック・シンガポール「テクノ・センター」オープニング・セレモニー開催

2019年2月26日、シンガポールの販売会社Sodick Singapore Pte., LTD.にて、シンガポール政府とのタイアップにて開設した「Sodick Singapore Techno Centre Pte., Ltd.」の開所式を実施いたしました。

「Sodick Singapore Techno Centre Pte., Ltd.」では、金属3Dプリンタを活用した最先端技術による金型製作の受託加工及びコンサルティング・販売サポート・メンテナンス業務を行うことで、シンガポール国内における金属3Dプリンタによる最先端ものづくりを普及してまいります。

【概要】

会社名：Sodick Singapore Techno Centre Pte., Ltd. (SSTC)

住所：2 JTC Launchpad @ Jurong Innovation District

主設備：OPM250L、LPM325、CADCAM、AL400G、AG40L、UH430L、MS100、GL30など

生産品目：EDB (Equipments & manpower support)、JTC (Building and rental support)



▲テープカットの様子

2 英国「テックセンター」オープニング・セレモニー開催

欧州の中心的な営業拠点である、英国の販売子会社「Sodick Europe Ltd.」にテックセンターを新設し、オープニングセレモニーを2019年7月10日に現地で開催いたしました。テックセンター新設により、欧州における事業展開をさらに加速させ、自動車産業をはじめ、航空宇宙・医療分野でのマーケットシェアアップを図るとともに、当地における「ソディック」ブランドのイメージ向上にも寄与するものと期待しています。

【概要】

会社名：Sodick Europe Ltd.

住所：Aginccourt Road, Warwick, CV34 6XZ, United Kingdom

延床面積：約 4,180㎡

主要設備：放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機 など

総投資額：8.6百万ユーロ



▲テックセンター外観



◀セレモニー風景

※詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL：https://www.sodick.co.jp/pdf/190724150438_20190724_NewsRelease_SELteckcenter.pdf

3 中国・上海市に食品機械事業の販売会社を設立

中国・上海市に食品機械事業の販売会社「蘇比克富夢(上海)貿易有限公司」を7月に設立、9月より本格的に事業展開を開始いたしました。中国販社設立により、中国・ASEAN諸国への日本食文化の普及と発展を通じ、ソディックブランドの向上・社会貢献を図るとともに、同地域における食品機械事業を加速することを目的としております。営業機能に加え、エンジニアリング機能も備えることで、設計・施工・設置、メンテナンスまでをトータルでサポートいたします。

【概要】

会社名 : 蘇比克富夢(上海)貿易有限公司
住所 : 中国上海市青浦区徐涇鎮諸光路436号(沙迪克機電(上海)有限公司内)
資本金 : 70万米ドル(7,500万円程度) ※為替レート: 1米ドル=107円
事業内容 : 食品機械・関連設備販売、メンテナンス(搬入据付業務含む)、エンジニアリング、ソフト提供(技術供与)、国際貿易(輸出入)

※詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/191030095937_20191030_NewsRelease_shanghai%20food%20sales.pdf



▲ソディック 自動茹麺装置 (一例)

4 形彫り放電加工機「AG200L」が 2019年第62回「十大新製品賞 モノづくり賞」を受賞

リニアモータ駆動 高速・高性能 大型形彫り放電加工機「AG200L」が、日刊工業新聞社主催の2019年「第62回十大新製品賞 モノづくり賞」を受賞いたしました。

本賞は、独創的な発明で反響の大きかった製品や世界最高水準の性能を有する製品、モノづくり産業の発展や国際競争力の強化に役立つとみられるものなどが表彰されます。

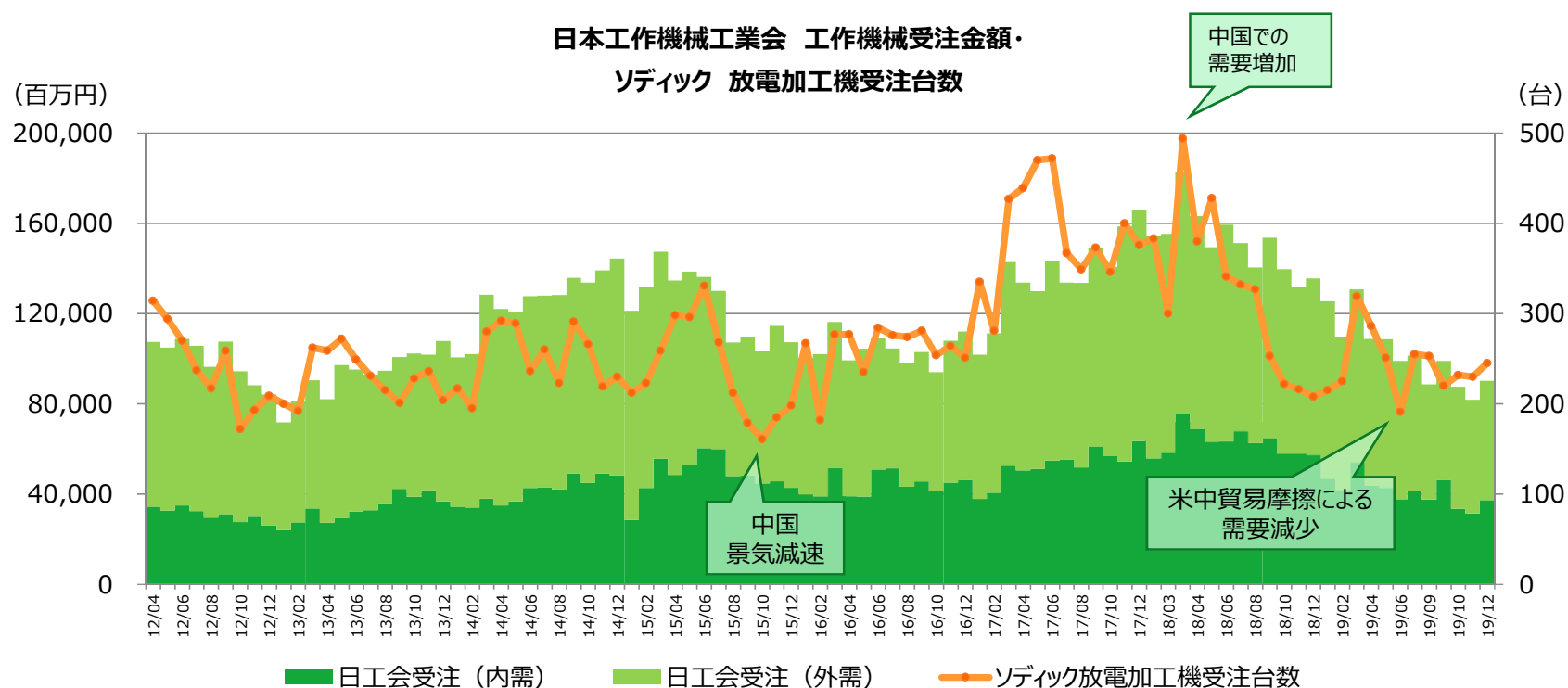
「AG200L」は、X軸の移動量がそれまでの大型ワーク対応機1.7倍の2000mmを有しながらも、中型機並みの高い加工精度を実現。機械本体のコンパクト設計、自社開発のY軸スライド方式・AG200L専用「LN2A2電源」などの特長を有し、これらのものづくりをリードする画期的な性能が高く評価され受賞の運びとなりました。



▲授賞式の様子

- I. 2019年12月期 決算概要
 - II. 2020年12月期 業績予想**
 - III. 株主還元
 - IV. 中期経営計画
- (参考資料)

- ✓ 国内：米中貿易摩擦の影響で設備投資に慎重さが見られているものの、政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要は継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車関連は減速感があるものの、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：Brexit問題の混迷など先行きに不透明感あるほか、中国景気減速の影響もあり、設備需要は減少。
- ✓ 中国：中長期的にはものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、高精度機の需要は継続する見通しだが、足元では米中貿易摩擦や新型肺炎感染拡大による経済への影響等が懸念。
- ✓ アジア：地域ごとに濃淡はあるが、中国の景気減速を受けて、需要の先行きには不透明感あり。



2020年12月期 業績予想



- ✓ 米中貿易摩擦の長期化等により、設備投資需要は低調に推移する見通し。売上高は2019年12月期比微増の678億円となる予想。
- ✓ 新型肺炎感染拡大の影響は、現状把握できておらず、予想には織り込まず。

(百万円)

	2019年12月期 通期		2020年12月期 通期		増減	
	実績	利益率	計画	利益率	金額	増減率
売上高	67,591	-	67,800	-	208	0.3%
営業利益	3,422	5.1%	3,800	5.6%	377	11.0%
経常利益	3,558	5.3%	3,800	5.6%	241	6.8%
当期純利益	2,002	3.0%	3,100	4.6%	1,097	54.8%

期中平均 為替レート	ドル	109.03円		106.00円			
	ユーロ	122.03円		118.00円			
	人民元	15.77円		15.40円			
	バーツ	3.52円		3.60円			

2020年12月期 業績予想 (セグメント別)



(百万円)

		2019年12月期	2020年12月期	増減	
		実績	計画	金額	率
売上高	● 工作機械事業	45,797	45,400	△ 397	△0.9%
	● 産業機械事業	9,773	9,700	△ 73	△0.8%
	● 食品機械事業	6,283	6,300	16	0.3%
	● その他事業	5,737	6,400	662	11.6%
		67,591	67,800	208	0.3%
セグメント利益	● 工作機械事業	4,621	5,300	678	14.7%
	● 産業機械事業	165	350	184	112.1%
	● 食品機械事業	625	350	△ 275	△44.1%
	● その他事業	311	300	△ 11	△3.7%
		5,723	6,300	576	10.1%
	調整額	△ 2,301	△ 2,500	△ 198	8.6%
	営業利益 合計	3,422	3,800	377	11.0%

工作機械事業 / 産業機械事業

- ✓ 中国を中心に、自動車をはじめ他分野でも、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要あるも、米中貿易摩擦の長期化による海外経済の減速により需要は、低調に推移する見通し

食品機械事業

- ✓ 製麺機や米飯装置ともに需要が堅調に推移する見通し。
- ✓ 製菓・総菜など他分野への展開にも注力

その他事業

- ✓ 金型成形事業及びセラミックスの外販ともに回復を見込む

※新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、上記業績予想に織り込んでおりません。

設備投資／減価償却費／研究開発費 予想



✓ 2020年12月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

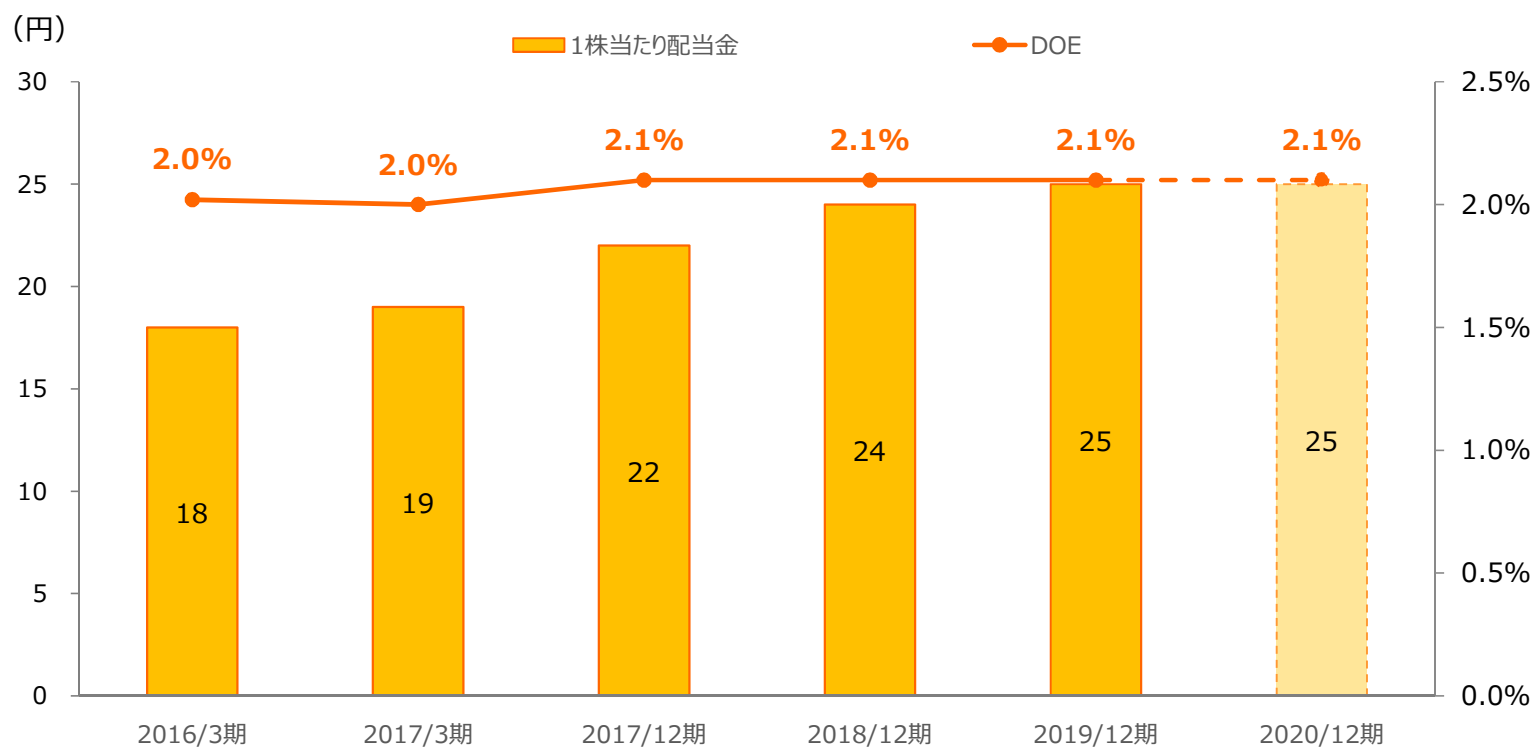
設備投資	設備投資は約45億円（前期比△20億円）を見込む。 <ul style="list-style-type: none">・金型成形事業 生産自動化・効率化への対応・アモイ工場 生産能力増強・加賀事業所 生産性向上に向けた生産設備の導入・更新
減価償却費	減価償却費は約38億円（前期比＋約1億円）を見込む。
研究開発費	研究開発費は約34億円（前期比横ばい）を見込む <ul style="list-style-type: none">・新電源、次世代CNC等の要素技術、次世代工作機械の開発・金属3Dプリンタ関連の研究開発

- I. 2019年12月期 決算概要
 - II. 2020年12月期 業績予想
 - III. 株主還元**
 - IV. 中期経営計画
- (参考資料)

株主還元方針・配当予想

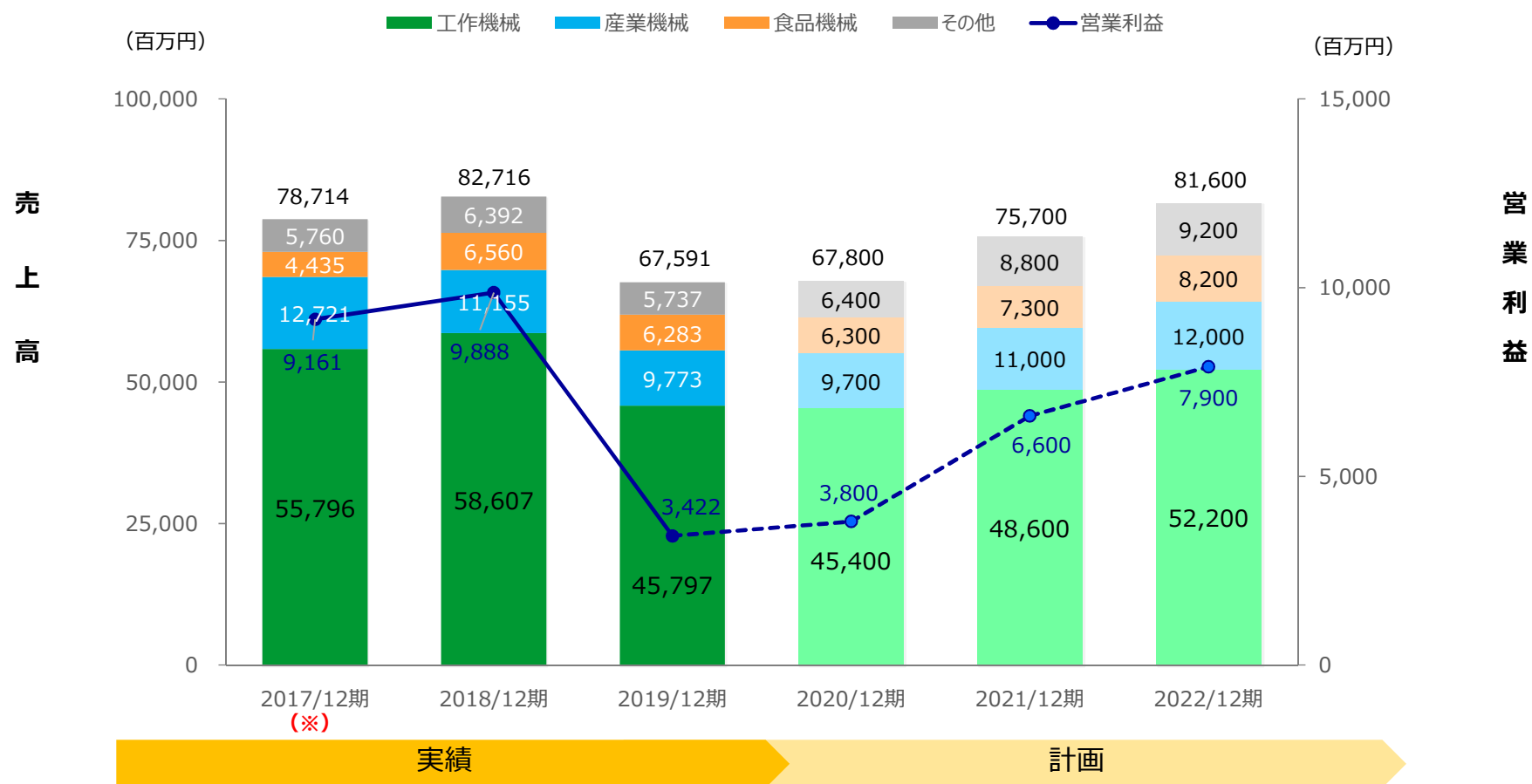


- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2019年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）
- ✓ 2020年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）



- I. 2019年12月期 決算概要
- II. 2020年12月期 業績予想
- III. 株主還元
- IV. 中期経営計画**
(参考資料)

2022年12月期までに、売上高816億円、営業利益79億円を展望。

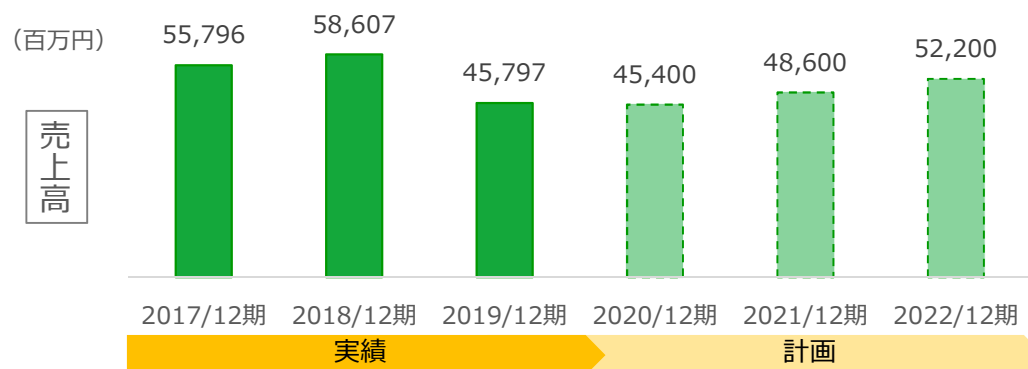


※2017年12月期は、比較参考のため全社2017年1～12月の1年間に換算した数値を表記しています。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、2020年12月期以降の業績予想に織り込んでおりません。

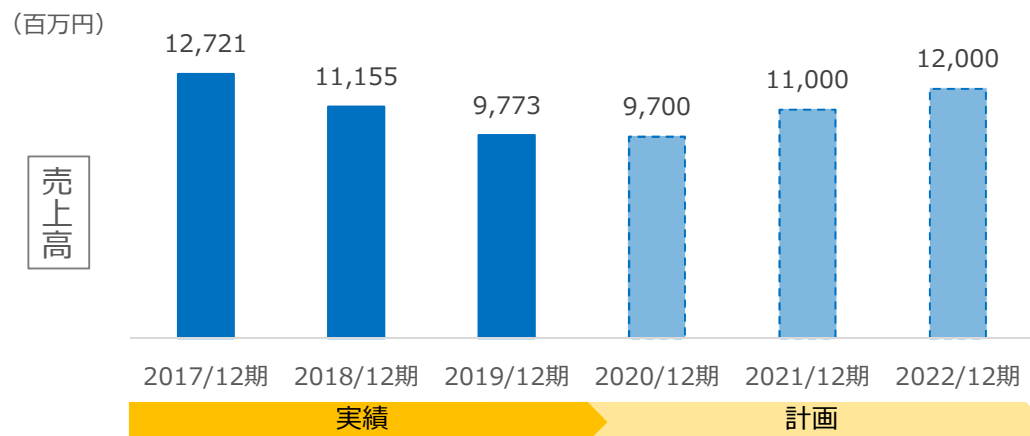
工作機械事業

- **放電加工機のさらなる製品競争力強化 → 放電加工機絶対的No.1ポジションの維持
成長市場での販売体制を強化**
⇒新興国市場の販売体制の強化（インド、メキシコ等）
⇒欧米地域でのシェア拡大（自動車、航空宇宙向けを強化）
- **精密マシニングセンタの販売強化による高付加価値加工のニーズの取り込み**
- **金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速**
⇒金型、部品加工におけるアプリケーション、加工ノウハウ、金属粉末の拡充
⇒コア技術の内製化を進め、コスト競争力を向上
- **エンジニア人材育成強化**
⇒製品開発、設計、生産技術、加工技術などの人材育成の推進
- **生産体制の最適化、自社工場でのIoTやAIの活用による生産効率向上**
- **工場の生産工程自動化への対応の強化**



産業機械事業

- **海外売上高比率70%以上を目指す**
 - ⇒ 欧州・インド等の成長市場の販売体制を強化
 - ⇒ 営業体制の再編成（中国、アジアを中心に営業人員の増加・スキル向上）
 - ⇒ 製品ラインナップの見直し
- **軽金属射出成形機（マグネシウム、アルミニウム対応射出成形機）の拡販**
 - ⇒ 安定成形、メンテナンス性の向上、アプリケーションの充実等を図り、早期の量産対応を目指す
- **自動生産システム「ICF-V」、IoT・AIによる予防保全・状態管理等のソリューション力を強化**
- **海外生産比率の向上、部品共通化等のコストダウンによる販売競争力の向上**



食品機械事業

●製品ラインナップの拡充

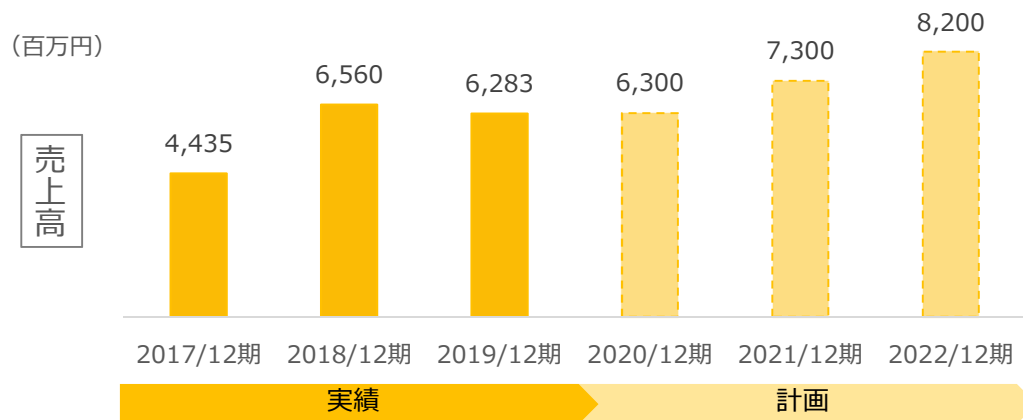
- ⇒製菓、製パン業界、中食市場向けなど、製麺機・米飯装置以外の製品開発強化
- ⇒自動化、省人化生産設備の導入

●生産、開発体制の強化

- ⇒生産設備の自動化、製品の標準化を推進し原価低減を推進
- ⇒衛生管理の強化により食の安全・安心を追求
- ⇒海外工場の生産能力を拡大し、中国・アジア市場向けの供給体制を構築

●海外売上高比率の向上

- ⇒中国、アジアでの高付加価値製品の需要開拓
- ⇒大手食品メーカーをターゲットに新規、更新需要を取り込む
- ⇒上海に新設した食品機械販売会社を通じた販売活動強化



その他事業

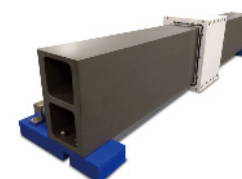
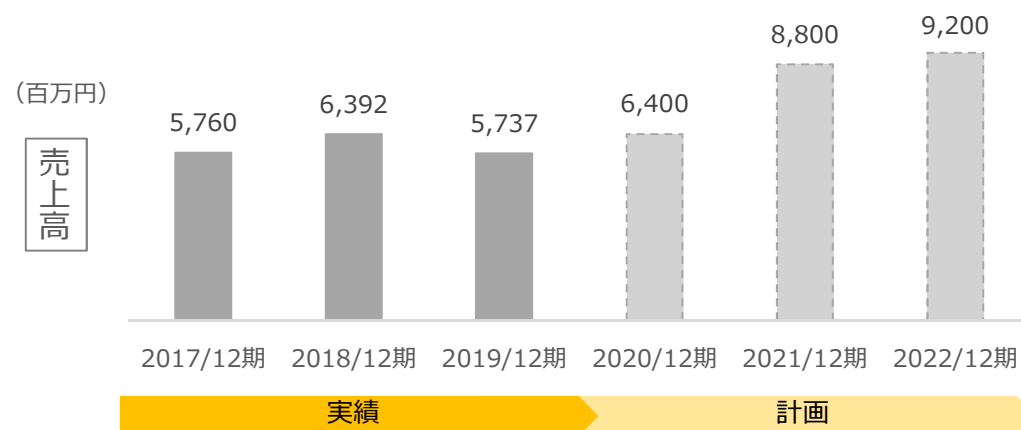
●金型成形事業の収益性向上

- ⇒金属3Dプリンタ、専用射出成形機「MR30」を活用したセル生産システムの開発・運用
- ⇒製品開発体制を構築し、次世代自動車部品向け金型成形需要を取り込む

●セラミックス部品の生産・販売強化

- ⇒半導体製造装置向けセラミックス部品の販売強化
- ⇒高付加価値な分野へ販路拡大

●自動化システム導入による生産性向上



経営基盤の強化

●働き方改革への対応強化

人事制度の見直しを通じた働きやすい環境づくりの促進

⇒女性の活躍推進、シニア制度、外国人労働者の受け入れによるダイバーシティ経営の促進

⇒時短勤務・在宅勤務への対応、育休取得促進

●優秀な人材の採用・人材育成制度の確立

⇒新入社員研修、階層別研修、海外研修制度、外国人技能実習生の受け入れなど、

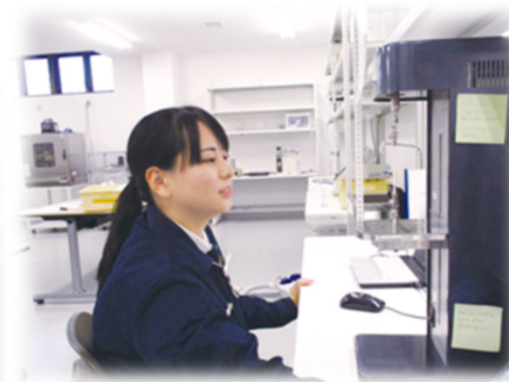
優秀なエンジニア、マネジメント能力に長けた人材育成に向けた多方面での取り組み強化

●開発、生産、販売体制再構築

⇒中国市場の変化に合わせた生産、販売体制の確立

⇒ASEAN地域の販売サービス体制強化

●システム的高速化・高度化



- I. 2019年12月期 決算概要
 - II. 2020年12月期 業績予想
 - III. 株主還元
 - IV. 中期経営計画
- (参考資料)**

【参考資料】 国内外の拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

【参考資料】 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
2020年				
2/26~28	日本	幕張	次世代3Dプリンタ展	
3/10~13	ドイツ	デュッセルドルフ	METAV (International Exhibition for Metalworking Technologie)	
(3/30~4/2)	中国	深圳	SIMM 2020 (Shenzhen International Industrial Manufacturing Technology Exhibition)	新型肺炎感染拡大の影響により延期
3/31~4/4	韓国	高揚	SIMTOS 2020 (Seoul International Manufacturing Technology Show)	
4/15~18	日本	大阪	INTERMOLD2020 大阪	
4/20~23	英国	バーミンガム	MACH 2020	
(4/21~24)	中国	上海	ChinaPlas 2020 (国際プラスチック・ゴム産業展)	新型肺炎感染拡大の影響により延期
5/13~16	タイ	バンコク	INTERMACH 2020	
5/18~22	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	
6/10~14	中国	上海	Die & Mold China	
6/23~26	日本	東京	FOOMA JAPAN 2020	食品機械展示会
6/24~27	タイ	バンコク	INTERMOLD THAI	
9/14~19	USA	シカゴ	IMTS2020	世界最大級の工作機械展示会
10/6~10	日本	幕張	IPF Japan 2020 (国際プラスチックフェア)	射出成形機を出展
10/8~10	ベトナム	ホーチミン	Metalex Vietnam	
11/18~21	タイ	バンコク	Metalex Thailand	
11/24~27	中国	深圳	DMP 2020 (東莞国際金型・金属・プラスチック加工展)	
12/7~12	日本	東京	JIMTOF2020	世界最大級の工作機械展示会

【参考資料】 新型肺炎感染拡大に対する当社の対応状況

✓当社 中国拠点での対応状況は以下の通り

工場/営業所	所在地	稼働状況
蘇州工場	江蘇省蘇州市	2/14（金）から一部稼働開始
アモイ工場	福建省廈門市	2/17（月）から一部稼働開始
販売子会社	上海市・広東省深圳市	2/17（月）から一部稼働開始

※工場及び販売拠点の稼働再開にあたっては、当局の指導に基づき、感染防止のための衛生管理を徹底しております。

※なお、現地従業員の一部には帰省先から移動できない者がいるほか、当社の取引先様においても、稼働を停止されているところが多数あるなど、今後の生産正常化には時間を要する見通しです。

✓日本国内での従業員の感染リスクの低減及び安全確保への対応状況

①時差出勤の実施

公共交通機関利用者に対し、時差出勤を実施（ラッシュ時の出退社回避）

②オフィス内での措置

手洗い・うがいの励行、アルコール消毒の設置、咳エチケットの実施

③各種スケジュール調整

大勢が集まるイベントや人混みへの不要不急な外出・出張を避ける。TV会議の利用促進による対面での会議の縮減

④海外出張の原則禁止

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835